

令和4年度 都城市立沖水小学校 学校評価書 No.1

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
確 か な 学	授業の工夫改善に努め、わかる、できる授業を展開する。 (授業が「わかる」と答える児童90%以上) (3.1) (3.4) (3.1)	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肯定的な意見が児童は96%、教師、保護者が86%である。 ○ 校内主題研究において、教師一人一人の指導力向上を図り、児童が「分かる」「できる」と実感する授業改善に努めていく。 ○ 来年度も校内主題研究を中心に全ての児童に「分かる」「できる」と実感する指導方法の改善と教師一人一人の指導力向上を目指していきたい。 ○ 個別に指導を要する児童も学級に数多くいることから、今後も個に応じた指導方法を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日、忙しい中でわかるできる授業を実践していくのは大変だと思います。でも、教材研究をしっかりし準備をした授業は子どもたちも熱心に取り組み学習内容も定着すると思います。大規模校の強みを生かし学年で協力して学力向上に取り組んでいただけるとありがたいです。 ○ 児童一人の短所を補い長所を伸ばしていく教育にメリハリのある創意工夫がみられる。同上に鑑み、先生方の熱意が子ども達に色々な面で効果が表れている。また、ICT教育にも力を入れている結果の表れでもある。家庭学習の習慣が身につけている児童と身につけていない児童の個人差が大きいと思う。 ○ 理解力、思考の回廊が個人差があるので、大変でしょうが！！よい評価が出てるのではないのでしょうか。 ○ 教師と児童の自己評価の値が食い違っているのが若干気になる。教師が自らをより厳しく評価していることがさらに良い方向につながると信じたい。児童の評価が3と4を合計して90%以上であることはすばらしい。さらに4が増えることを今後期待する。保護者の評価も86%が高評価と受け止めていい。 ○ 教師、保護者の「4」の評価が少ないのが気になりました全体的には「わかる」と答える児童が多いので、良いと思いますが、教師の「3」と「4」に自己評価できるよう努めてほしい。 ○ 児童、生徒数が多いため、わかる、できる授業の評価は高くなくてもしかたないと思います。 ○ 児童は楽しく授業を受け、その様子を家で話す姿が目に見えます。保護者の評価が児童に比べて低いのは多分テストの結果に満足できていないことの裏返しのようにも思えます。 	
力 の 向 上	タブレットの活用推進を図る。 (よく使う(週4日以上)と答える児童90%以上) (3.0) (2.8) (3.1)	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師と保護者は肯定的な意見が80%以上あったが、児童は否定的な意見が30%もあり、認識の違いが大きい。 ○ 児童を学年別にみていくと、高学年は肯定的な意見が多く、下の学年ほど低くなっている。 ○ 中・高学年は夏休みや冬休みにタブレットの持ち帰りや、授業におけるタブレットの使用が進んでいる。 ○ 本校の低学年だけ都城市の他の学校とはタブレットの種類が違う。そのため、操作が難しいのと機器の不具合が多いため、児童に使用させることが難しかった。 ○ 来年度は、低学年のタブレットが9月から変更になることもあり、全校上げて取り組む環境が整うので、授業だけではなく家庭学習においても活用していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業などでタブレットを使用するところが学習効果を高めることは今までの授業参観でよくわかった。しかし道具の一つであるタブレットの使用頻度と確かな学力向上の関係が今一つよく理解できない。 ○ タブレットの活用については、児童の取扱いの格差が多少個人差があると思われるが、将来的に社会全般、これからのICTを考えると重要と考える。保護者は子どもがタブレットについてどのくらい活用しているかの認識を持ち取り組むことが大切。 ○ タブレット学習のデメリットもあるでしょうが、格差なく学習の機会が与えられるのは良いと思う。 ○ 今は使う・慣れる段階だと思いますが使うことが目標にならないように機器のよさを生かした活用が大事だと考えます。 ○ 今後はタブレット利用の生活があたりまえになってくると思います。教師、児童、保護者が少しずつその生活に慣れていけばよいと感じています。 ○ タブレットは以前より身近になったので、子どもたちの関心が高いと思います。 ○ タブレットの活用が上学年になるほど上がっていくとの説明でしたので、この結果は妥当かなと思いました。 	3

令和4年度 都城市立沖水小学校 学校評価書 No.2

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
豊かな心と社会性の育成	基本的な行動様式を身に付けさせ規範意識の高揚を図る。 (「きまりを守る」と答える児童90%) (2.9) (3.5) (3.4)	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者と児童の90%以上が肯定的な意見だが、教師は79%と認識の違いがある。 ○ 廊下歩行やトイレのスリッパ並べ等、全体的によくなってきている。 ○ あいさつについては、校内ではよくなってきているが、地域の方から声が小さかったり、自分からできなかつたりといった指摘がある。 ○ 来年度は今年度から始めてスクールワイドPBSの考え方を基に、学校全体で児童の適切な行動に目を向け、よさを認める積極的な生徒指導をさらに進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規範意識の高揚については教師が若干厳しい評価をしているが児童・保護者はおおむね好評価と考えていい。様々なマナーを守ることは大切であるが、主に交通安全面で無事故をお願いしたい。 ○ 日々の家庭や学校生活における基本は「あいさつ」及びさまざまな「マナー」を実行することが大切である。道徳に関する教育が極めて必要ではないでしょうか。 ○ 児童、保護者の評価は高いようですね。登下校の見守りで声かけするのが楽しみです。 ○ 児童の評価に比べて先生方の評価が低いのが気になります。規範意識は幼少期からの育てられ方によって入学時から個人差があると思うので大変でしょうが根気よくご指導お願いします。 ○ マナーや「きまりを守る」は、家庭での保護者の教えが大事だと思いますので、良い結果が出てると思います。 ○ 元気よくあいさつしてくれる子どもが多いです。 ○ 保護者は児童の学校での様子をすべて把握しているわけではないので、児童の守れているという認識と近い結果が出てても仕方ないと思う。よいことも悪いことも保護者に伝えるという日常の情報共有を地道にしていって行く中で教師と保護者の連携がはかれるのではないかと考える。 	
	いじめの早期発見に努め、確実に対応する。 (いじめの解消100%) (3.2) (3.6) (2.9)	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や児童の90%以上が肯定的な意見に対して、保護者の26%が否定的な意見もあり、認識の違いが大きい。 ○ 計画的に「いじめアンケート」を実施し、その後の教育相談の機会を確保しながら、児童の実態把握、いじめの早期発見、対応に努めてきた。 ○ あすなる委員会(いじめ不登校対策委員会)を実施し、児童の実態、今後の対応等を全職員で共通理解することができた。 ○ いじめについては、その都度、保護者へは学校から説明を行っているが、学校からの説明と子どもから保護者への説明の仕方にケースによっては違いがあり、そのため、誤解が生じることもあった。 ○ 来年度もいじめはどの教室でも起こりうるという考えのもと、「いじめの未然防止」「いじめの早期発見」「いじめの早期解決」を全職員で取り組んでいきたい。また、保護者への説明も大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県が時々発表する、いじめの件数調査の結果は減る兆しはない。そのことも踏まえて丁寧な対応が望まれる。沖水小では今のところ目立ったものはないと聞いている。今後も同様な対応を望みたい。 ○ 一部の不登校はやむを得ないとしても「いじめ」については早期発見とその対応について家庭と学校との情報交換が必要である。 ○ 児童の評価はある程度高いように思われますが、保護者に伝わっていないのか思いが違うのか？ ○ いじめが起きてしまったからの確実な対応は原因が何であれ絶対にやっていただきたいことです。また、いじめをしない集団づくりをする努力はもっと大事だと考えます。 ○ 児童の評価が高いので安心した。難しい問題だと思いますが、引き続きよろしく願い致します。 ○ 先生も子供、保護者も他人事ととらえていないと思います。悩みなど、先生も積極的に聞いてくれるのですが、働き方改革などで時間をかけられないことを理解できていない保護者も多いのかなと思います。 ○ 教師で2, 1の評価をされている人がいる。本気で取り組んでいないと感じていれば問題だが、謙遜であると思いたい。保護者はいじめに大変敏感になっている。学校でのトラブルは児童よりも学校でのトラブルは児童よりも学校が先に保護者の耳に入れるのが鉄則である。電話一本入れるか入れないかで学校への信頼が大きく変わる。 	3

令和4年度 都城市立沖水小学校 学校評価書 No.3

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

	項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	
		評価	考察	意見(改善策・手立て等)	評価
体力の向上と健康安全の推進	感染予防と感染予防教育を徹底する。 (あまびえチェック合格率90%以上) (3.4) (3.6) (3.4)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のコロナ対策については保護者と児童の90%以上が肯定的な意見である。 ○ 今年度はコロナ感染状況だけではなく、運動場改修(9月~12月)もあり、運動場が使用できない期間があった。そのため、昼休みカット等の週時程の工夫を行うなどの対策をとった。 ○ コロナ感染状況により体育科学習における内容制限等があったが、運動会や水泳学習等の体育的行事も実施することができた。 ○ 来年度も国の方針を確認しながら、「新しい生活様式」に基づきコロナ感染対策の手立てをとっていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まだまだ続くコロナ禍。学校としての対応、大変だと思う。教師、児童、保護者の三者連携の密さが今回の好評価につながっていると思う。 ○ 現在は電子機器の発達に伴い昔みたいな外で遊びに熱中する子どもを多く見かけない。今はコロナ禍での日々が続いている中で体力向上と安全面から大変だと考える。 ○ コロナ感染予防対策本当にお疲れ様です。 ○ 学校、家庭内でも感染予防が徹底されていると感じています。 ○ 感染症予防の対策が細かくできていると思います。 ○ 感染予防について学校はレベルマックスで対応されていると思います。 	4
	個に応じた保健指導を充実させる。 (歯科受診率70%以上) (3.3) (3.7) (3.5)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の肯定的な意見は96%に対して教師と保護者の肯定的な意見は90%前後であり、若干認識の差がある。 ○ むし歯治療率は1月現在67%であり、養護教諭を中心に学級担任も保健指導や保護者への継続的な呼びかけを行ってきた。一人でも受診が増えるように今後も呼びかけていきたい。 ○ 来年度も学校からの呼びかけを続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ しっかりした保健指導成果を感じる結果だと思う。 ○ 歯磨きは健康のバロメーターであるとの認識のもと、家庭や学校でも積極的に取り組む姿勢が評価される。 ○ 一生涯を通しての歯の大事さを伝えてほしい。 ○ 各家庭の意思で行ってほしい歯科受診の指導大変だと思います。 ○ 良い結果が出てると感じます。 ○ 評価は高いですが、治療の声かけをもう少し増やしてもいいのではないかと思います。 ○ 歯科受診率は保護者の協力なしには上がっていかない。歯の健康の大切さを繰り返し訴え、受診を促すお便りをしていくしかない。また、児童自身にむし歯にならない日頃のケアを取り組ませたいものです。 	

令和4年度 都城市立沖水小学校 学校評価書 No.4

【4段階評定 4：よくあてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない】

項目 (教師)(児童)(保護者)	学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価	評価
	評価	考察	意見(改善策・手立て等)	
地域に開かれた信頼される学校づくり (3.4)(-)(3.5)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の96%は肯定的な意見だった。 ○ 今年度はホームページを中心に紙面やSigfyを通して、学校の取組を理解していただくように情報発信に努めてきた。 ○ 来年度もホームページやSigfyを中心に学校からの情報発信に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページや一斉メールがしっかり機能したアンケート結果だと思う。 ○ 本校は、地域とともにすばらしい環境にあり、子どもたちが色々な活動を体験することができて良い成果が出ていると考える。 ○ 一斉メール活用しています。 ○ 忙しい中でのホームページの発信お疲れ様です。学校の様子が分かると保護者の学校への理解が深まり学校と保護者の連携が取りやすくなるような気がします。 ○ 今後は(Sigfy)の利用と活用がさらに増える時代になると予想しています。今回も良い結果が出ていると思いますので引き続きお願いします。 ○ メールよりアプリの方が見やすいと思います。そのため評価が高いかなと思います。 ○ HPよりもSigfyの方が保護者もよく見ている気がする。通信等の発信もHPではなくSigfyの方が、気軽に見てもらえるような気がする。あくまで中学校での感触です。 	4
	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の90%が肯定的な意見だったが、自己評価で「2」や「1」の否定的な意見もあった。 ○ 連絡会や諸会議、コンプライアンス研修を通して、職員の法令順守の意識を高めた。 ○ 特に交通事故、交通違反については諸会議等において指導を行ったり、交通取締情報を配付したり、週末メールを職員に配信したりしながら、注意喚起を図ってきた。 ○ 来年度も職員同士で声をかけ合いながら法令順守に取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時々世間を騒がす「不祥事」。そうならないよう、今後も務めてほしい。 ○ 学校教師としての立場・モラルをしっかりと保持することが大切です。 ○ 自己評価2と1が気になります。 ○ 法令順守は、社会人として生活していくために大切なことだと思います。ぜひ不祥事ゼロに努めていただきたいです。 ○ 法令違反等はあってはいけない事なので、自己評価「1」「2」以上になるよう目標として努力してほしい。 ○ 1, 2の評価が多い気がします。 ○ 評価が、2, 1の教師は研修に何を求めているのかアンケート等で聞いてもよいのではないだろうか。 	
(3.4)(-)(-)				